

日本モンゴル学会春大会プログラム

2023年5月20日（土）10時30分から16時45分まで

開会の辞（会長）	総合司会 バイカル（桜美林大学）	(10:30-10:35)
第1部 研究発表	座長：尾崎孝宏（鹿児島大学）	
発表1 T・バトドラム（東京外国語大学・院生）		(10:35-11:00)
「外国人技能実習制度とその課題—モンゴル人技能実習生の語りから—」		
発表2 ウルガ（総合研究大学院大学・院生）		(11:00-11:25)
「都市に移住したモンゴル族牧畜民の日常生活に関する人類学的研究 —子供の12歳の宴会を事例に—」		
発表3 湊邦生（高知大学・地域協働学部）		(11:25-11:50)
「モンゴルにおける地方移住促進の現状」		
	〔昼食休憩 70分〕	(11:50-13:00)
総会		(13:00-13:15)
第2部 基調講演	司会・紹介：松川 節（大谷大学）	
春花（中国故宮博物院・研究館員）		(13:15-13:45)
「清の乾隆帝のモンゴル語学習とその掌握程度について」		
	〔休憩 15分〕	(13:45-14:00)
第3部 研究発表	座長：中嶋善輝（大阪大学）	
発表4 G・ゲレルマー（モンゴル科学アカデミー言語文学研究所）		(14:00-14:25)
「Цар тахлын үеийн шинэ үгийн хэллэгийн онцлог, хэрэглээ」		
発表5 包格根（新潟大学・院生）		(14:25-14:50)
「動詞接辞-mar/-mer の名詞類を修飾する用法について」		
発表6 T・アルタンバガナ（千葉大学・人文公共学府）	座長：楊 海英（静岡大学）	(14:50-15:15)
「満洲国時代のプロパガンダ芸術に関する考察—内モンゴル地域での宣伝活動を中心に—」		
発表7 ハムゴト（広島大学大学院・人間社会科学研究所）		(15:15-15:40)
「蒙古地方自治政務委員会の樹立過程について —内モンゴル自治運動と中華民国、日本の対応、1933年9月～1934年4月—」		
	〔休憩 10分〕	(15:40-15:50)
発表8 田中幸哉（韓国・慶熙大学校）	座長：守田秀則（岡山大学）	(15:50-16:15)
「モンゴル南東部スフバートル県における後期更新世以降の乾湿変化」		
発表9 渡邊三津子（文教大学・国際学部）		(16:15-16:40)
「リピート写真撮影に基づくウランバートルの約100年間の景観変化検証」		
閉会の辞（副会長）		(16:40-16:45)

* 駅前へ移動して懇親会(17時-19時)